

第352回 昭和の森自然観察会

春の花

八木千里（千葉市）

日 時：2021年4月11日（日）10時～12時 天候；晴れ

参加者：15名（大人13名 子ども2名）

担当指導員：佐藤一枝・武田宏子・八木千里 参加指導員：5名

3ヵ月振りの観察会となりました。コロナ対策として管理事務所で募集した参加者15名、担当指導員3名で5名ずつ3班づくり、あらかじめ希望していた指導員が各班について1班ごとに間隔を取っての出発としました。

天気は晴れて気温も17℃になったので花も開き虫やトンボも飛び交い春を楽しもうというコンセプトにぴったりになりました。

まずは木を見て萌黄色など春ならではの色を見つけイヌシデ、コナラを観察。ジャンボ滑り台下へ：オニタビラコ、カタバミ、オニノゲシ、タンポポを観察。なぜ黄色い花が多いのかクイズ。アブやハエが黄色い色を好むため、黄色が青っぽく見える（本による）タンポポクイズを出して絵をみせて根、葉、茎の別れ方を確かめました。

菖蒲田の北面でカタクリの出来たての種を見つけてカタクリの一生となぜ北斜面なのかを南斜面と比べながら説明しました。南斜面で見た花はチゴユリ、シュンラン、ウラシマソウ（オスとメスの作り）タチツボスミレ、チゴユリ。

田んぼへ続く道：ツルカノコソウ、ホタルカズラを観察。オオイヌノフグリ、カラスノエンドウ、葉っぱを使って板目紙にお絵描き。花も葉も綺麗な色で意外にジューシーなのに驚いていました。子どもも大人も楽しんで塗っていました。

折角なので畔道を歩く：アズマヒキガエル、シュレーゲルアマガエル、羽化したばかりのシオヤトンボを見つけました。木の観察はウワミズザクラ、キブシなど。

太陽の広場にヒラタアオコガネが異常発生していた。

参加者感想：沢山の花が見られた。春の色が綺麗。街で見っていた木の名前が分かった。



絵をみせてクイズを出す



田んぼの畔で熱心に観察